

人権文化をすすめる

「多可町民の集い」



多可町では、住民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会になるよう、「多可町民の集い」を開催します。

令和6年8月22日（木） 午後7時30分開会

ベルディーホール（多可町文化会館）

『トランスジェンダーと 父の親子対談』

葛藤を乗り越えて、私たちが笑顔でいられる理由

ゆうきさん

自身の経験から、セクシュアリティで悩む人やLGBTQ+に関心のある人が、身近に安心して繋がれる場所をつくらうと、京都でコミュニティ団体「カラフル」を立ち上げ、『京都をもっとカラフルに』をテーマに『可視化』『共存』『発信』の3つを軸に活動している。



松本一成さん

我が子からのカミングアウトを受け、初めて気づいたLGBTQ+の存在と当事者の思い。自分にできることは何かを考え、アライ（味方）として我が子から学んだことや自身の思いを交えた講演活動に取り組んでいる。

※町民の集いでは、手話通訳・要約筆記も行います。

主催 多可町・多可町人権啓発協議会

問い合わせ先 生涯学習課人権啓発推進室（多可町隣保館）☎・FAX 32-1389